

2023年3月期第2四半期 決算説明会

2022年11月16日(水)



本日の内容

- ① 2023年3月期第2四半期決算概況
- ② 2023年3月期の業績見通し
- ③ 中長期的経営戦略

① 2023年3月期第2四半期決算概況

東邦HD 連結 P/L

・独占禁止法関連損失として1,400百万円を特別損失に計上

(単位: 百万円)

	2022年3月期第2四半期		2023年3月期第2四半期		
	実績	売上比 (%)	実績	売上比 (%)	対前同 増減率(%)
売上高	620,845		679,719		9.48
売上総利益	50,566	8.14	52,907	7.78	4.63
販売管理費	48,703	7.84	48,823	7.18	0.25
営業利益	1,863	0.30	4,084	0.60	119.22
経常利益	4,802	0.77	7,392	1.09	53.94
四半期純利益※	3,271	0.53	3,598	0.53	10.00

※親会社株主に帰属する四半期純利益

東邦HD 連結 B/S

(単位: 百万円)

	2022年3月期		2023年3月期第2四半期			主な増減要因
	金額	構成比 (%)	金額	構成比 (%)	増減額	
流動資産	513,107	73.05	551,459	74.46	38,352	現預金 7,868増加 売掛金等 24,329増加 商品及び製品 2,050増加
固定資産	189,268	26.95	189,190	25.54	△78	投資有価証券 2,977増加 有形固定資産 2,567減少
資産合計	702,376	100.00	740,650	100.00	38,274	
流動負債	402,819	57.35	452,792	61.13	49,973	買掛金等 36,990増加 一年内償還予定の社債 20,013増加 短期借入金 3,668減少 未払法人税等 2,684減少
固定負債	58,275	8.30	42,215	5.70	△16,060	長期借入金 2,162増加 社債 20,023減少
負債合計	461,095	65.65	495,007	66.83	33,913	
純資産	241,281	34.35	245,642	33.17	4,361	利益剰余金 2,515増加 有価証券評価差額金 2,045増加
負債純資産合計	702,376	100.00	740,650	100.00	38,274	

自己資本比率 2022年3月期 34.30% 2023年3月期第2四半期 33.13%

医薬品卸売事業 P/L

- ・がん治療薬などの新薬・スペシャリティ医薬品の伸長や、新型コロナウイルス感染症の第七波ともいわれる更なる流行拡大に伴い治療薬・検査キットなどの関連製品の売上が拡大
- ・取扱卸限定製品の売上高 817億円(対前期 15.1%増)

(単位:百万円)

	2022年3月期第2四半期		2023年3月期第2四半期		
	実績	売上比 (%)	実績	売上比 (%)	対前同 増減率(%)
売上高	596,983		654,820		9.69
売上総利益	33,265	5.57	35,389	5.40	6.39
販売管理費	32,135	5.38	32,057	4.90	△0.24
営業利益	1,130	0.19	3,331	0.51	194.78

カテゴリー別売上構成比および妥結率

カテゴリー別売上構成比

	2021年4月 -2021年9月	2022年4月 -2022年9月
新薬創出加算対象品	37.8%	42.2%
特許品・その他	34.4%	35.3%
長期収載品	14.9%	10.4%
GE品	13.0%	12.2%

妥結率

	2018年 9月末	2019年 3月末	2019年 9月末	2020年 3月末	2020年 9月末	2021年 3月末	2021年 9月末	2022年 3月末	2022年 9月末
金額ベース	91.7%	95.5%	99.7%	99.7%	95.6%	100.0%	95.0%	100.0%	95.4%
軒数ベース	69.6%	86.7%	100.0%	99.8%	80.6%	100.0%	71.1%	100.0%	69.6%

調剤薬局事業 P/L

- ・診療報酬改定への対応を進めるとともに、採算性に基づき7店舗を閉局
- ・4月に実施された薬価改定・調剤報酬改定の影響を受け減収減益

(単位: 百万円)

	2022年3月期第2四半期		2023年3月期第2四半期		
	実績	売上比 (%)	実績	売上比 (%)	対前同 増減率(%)
売上高	45,450		45,089		△0.79
売上総利益	15,800	34.76	15,736	34.90	△0.41
販売管理費	14,483	31.87	14,857	32.95	2.58
営業利益	1,317	2.90	878	1.95	△33.33

■調剤薬局店舗数(2022年9月30日時点)

	連結子会社	非連結子会社	関連会社	合計
東邦HD傘下	4社 78店舗	8社 53店舗	2社 16店舗	14社 147店舗
ファーマクラスター傘下	6社 474店舗	13社 65店舗	2社 89店舗	21社 628店舗
合計	10社 552店舗	21社 118店舗	4社 105店舗	35社 775店舗

② 2023年3月期の業績見通し

東邦HD 連結 2023年3月期の業績見通し

(単位: 百万円)

	2022年3月期		2023年3月期計画		2023年3月期第2四半期	
	実績	売上比 (%)	金額	売上比 (%)	実績	通期計画に 対する進捗率 (%)
売上高	1,266,171		1,269,000		679,719	53.56
売上総利益	108,687	8.58	108,400	8.54	52,907	48.81
販売管理費	96,159	7.59	96,100	7.57	48,823	50.80
営業利益	12,527	0.99	12,300	0.97	4,084	33.20
経常利益	18,182	1.44	17,600	1.39	7,392	42.00
当期純利益※	13,379	1.06	11,300	0.89	3,598	31.84

※親会社株主に帰属する当期純利益

医薬品卸売事業 2023年3月期の業績見通し

(単位: 百万円)

	2022年3月期		2023年3月期計画		2023年3月期第2四半期	
	実績	売上比 (%)	金額	売上比 (%)	実績	通期計画に 対する進捗率 (%)
売上高	1,216,019		1,221,000		654,820	53.63
売上総利益	73,735	6.06	73,700	6.04	35,389	48.02
販売管理費	63,767	5.24	63,400	5.19	32,057	50.56
営業利益	9,967	0.82	10,300	0.84	3,331	32.34

調剤薬局事業 2023年3月期の業績見通し

(単位:百万円)

	2022年3月期		2023年3月期計画		2023年3月期第2四半期	
	実績	売上比 (%)	金額	売上比 (%)	実績	通期計画に 対する進捗率 (%)
売上高	91,801		87,500		45,089	51.53
売上総利益	31,777	34.62	31,200	35.66	15,736	50.44
販売管理費	28,813	31.39	28,600	32.69	14,857	51.95
営業利益	2,963	3.23	2,600	2.97	878	33.77

■ 下期の取り組み

1. 上期の妥結価格に基づく利益を検証した上で、採算を重視した価格交渉を推進
2. 配送回数の更なる適正化
 - ：需要予測発注機能を持つ薬局本部システム「ミザル」のプロモーション強化など週1回配送に向けた取り組み
 - ：営業所からの配送回数適正化のための物流センターから営業所への輸送体制の見直し
3. 初診受付サービスの更なる拡大
 - ：病院なびホームページ作成サービスとの連動（初診受付数の約6割がクリニックのホームページ経由）
4. 顧客支援システムが提供する価値に見合ったフィーの適正化
5. ジェネリック医薬品の共創未来ファーマ製品への集約化
6. 調剤報酬改定への対応
 - ：かかりつけ薬局、かかりつけ薬剤師の拡大
7. 販管費の削減
 - ：営業所の統廃合、物流コストの見直し
 - ：管理部門における業務効率化（DX、アウトソーシング、ペーパーレス）

配当について

【配当に対する考え方】

将来の収益基盤の強化と市況変動に備えた内部留保の充実に努めつつ、
毎期の業績を勘案しながら柔軟な配当政策を実施

	中間	期末	年間
2021年3月期	15円	15円	30円
2022年3月期	15円	15円	30円
2023年3月期 (予想)	16円	16円	32円

3 中長期的経営戦略

■ サステナビリティ経営

- 社会と共生し、顧客価値を共創することで、持続的な成長と企業価値向上を目指す

コンプライアンス

全ての役員と社員が「関連法規の遵守」と「コンプライアンス・リスクマネジメント」を最優先事項として行動

人的資本

社員一人ひとりとその家族の豊かな生活を実現するための人材育成と人事制度の整備

キャリア開発

多様な企業風土

ESG

ESGに関する課題を明確にし、事業活動を通じてその解決に取り組むことで持続可能な社会の実現に貢献


環境
(Environment)
エコ活動の推進
廃棄物の削減


社会
(Social)
医薬品の安定供給
職場環境の整備
地域への貢献


ガバナンス
(Governance)
内部統制機能
コンプライアンス

3 中長期的経営戦略

サステナビリティ経営

■ 人的資本への取り組み

■ 社員一人ひとりとその家族の豊かな生活を実現するための人材育成と人事制度の整備

キャリア開発

- ・ 顧客支援システム提案力の強化（MTP研修、SV（スーパーバイザー）の育成）
- ・ 階層別・職種別研修の充実、リスキリング
- ・ 外部機関との共同研究、IT企業等への出向
- ・ 未来創研、未来創研大学を通じた人材育成
- ・ 自己啓発や資格取得支援

多様な企業風土

- ・ 若手を中心としたプロジェクトチーム「MAXIS2021」による社内改革の推進
→「顧客支援」「営業」「物流」「内勤業務」「その他」のチームで解決策を議論
- ・ 性別、国籍等を問わない幅広い人材活用（ダイバーシティ&インクルージョン）
→新たな人材登用、配置転換、女性社員の積極的な管理職登用を実施（7月）
- ・ 社員のライフイベントに応じた働き方・体制の充実
- ・ 健康経営の実践

目指すべき人材

- ・ 高い倫理観を持ち、基本行動を遵守し続ける人
- ・ 自ら考え、学び、失敗を恐れず挑戦する人
- ・ 質の高い提案とコミュニケーションが行える人
- ・ 取引先や、社内他部署と連携できる人
- ・ グローバルに活躍できる人



■ 成長分野への積極的な投資・協業

■ 成長分野における最先端の技術の取り込みや枠に捉われない協業の推進と積極的な投資

スペシャリティ医薬品

(再生医療等製品、バイオ医薬品等)

- 先端技術・新規医薬品へのアクセスと営業力の強化
- TBCダイナベースを核にしたメーカー物流を含む流通体制の進化
(GDP対応、温度管理、コールドチェーン、トレーサビリティ)
- 再生医療等製品などの治験物流への挑戦とバイオベンチャーとの提携推進
- 共創未来ファーマに販売機能を構築することによるバイオシミラーへの挑戦
- 協業による新規原薬プラットフォームの構築による、品質向上と安定的調達の実現

- | | |
|----------------|---------------------------|
| ◆ セルジェンテック株式会社 | ◆ クリングルファーマ株式会社 |
| ◆ 株式会社セルージュン | ◆ Drawbridge Health, Inc. |
| ◆ シオノギファーマ株式会社 | ◆ 株式会社キュービクス |
| ◆ ヘカバイオ株式会社 | ◆ あゆみ製薬株式会社 |
| ◆ モリモト医薬グループ | 他 |

顧客支援システム

- 最先端の技術の取り込みや他社との協業による新たな顧客支援システムの開発

MSプロモーション

- ウィズコロナを見据えたMSプロモーション機能強化と次世代スタイルへの挑戦

健康・未病・予防領域

- 健康寿命延伸から広がる未開拓領域(フレイル対策、アンチエイジング等)への挑戦

海外事業

- 中国合弁会社による越境ECと医薬品販売事業へ挑戦
- 医療インフラの構築に積極的で市場拡大が見込まれるアジア地域等での事業機会を探索

3 中長期的経営戦略 ～セグメント別施策～

3 中長期的経営戦略 ～セグメント別施策～

■ 医薬品卸売事業

～ 医薬品等の多様性に対応できる営業・物流体制の構築～

TBCダイナベース



交通至便な立地

万全の防災対策

自動化率95%

出荷精度99.99999%



① 厳格な価格管理

価格ロックシステムの運用に加えて、特定個別管理先を設定しさらに厳格に運用。

② 在庫の一元管理

基幹システムが一元化されていることにより、グループ全体で在庫を一元管理できる仕組みを構築。センター間での商品移動も容易に行え、有事の際にも相互補完が可能。

③ 高機能な物流体制

現物在庫とデータ上の理論在庫がリアルタイムで一致する高精度なオペレーション。最先端技術の導入により正確性と効率性を両立させ、非常時でも安定供給が可能な物流体制を確立。

④ サルムソリューションシステム

共創未来グループの最先端の物流システムと定温搬送装置「サルムTS」「サルムFZ」を組み合わせ実現した、医薬品の返品・再販売が可能な物流システム。

- ・手術室やベッドサイドまで定温搬送が可能
- ・最適な需給計画により高額医薬品の廃棄リスクを大幅削減

ドライアイスフリーによるCO2排出削減で
環境負荷低減にも貢献

→9月からシスメックス(株)との取り組みをスタート



バイオベンチャー
製薬企業



治験物流
メーカー物流

卸物流

医療機関
患者さま



- ・ノー検品やお得意先への直送体制
- ・薬局本部システム「ミザル」の需要予測発注機能を活用した最適配送

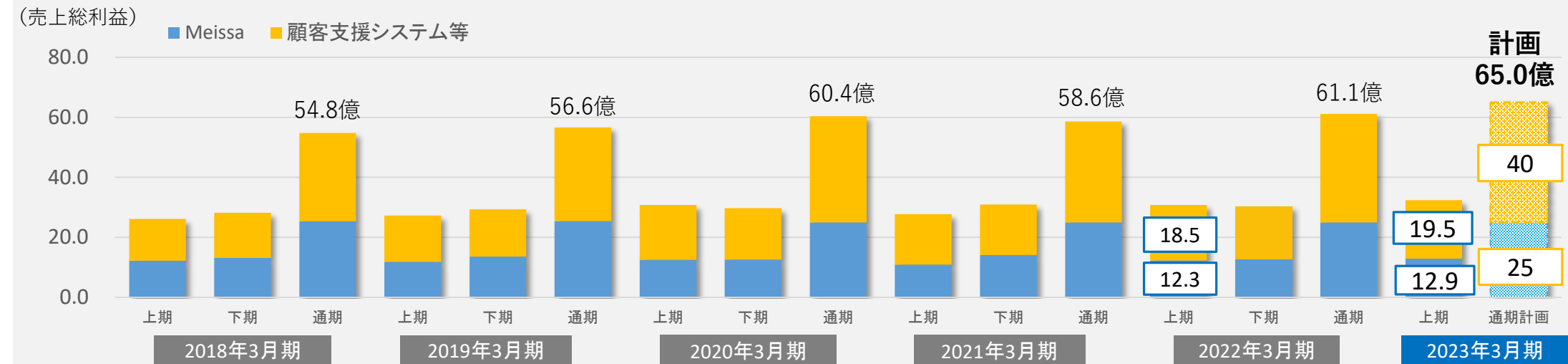
3 中長期的経営戦略 ～セグメント別施策～

■ 医薬品卸売事業

～ 顧客支援システム ～

医療機関の業務効率改善
患者さまの集客

システムの価値に
見合ったフィー



顧客支援システムの進化

- ◇ オンライン診療・服薬指導システム
「KAITOS」の機能強化: アプリ版リリース
- ◇ 最先端技術を有する企業との協業による
新たなシステムの開発



提案・営業力の強化

- ◇ SV(スーパーバイザー)の育成・拡充
- ◇ リモートディテリング(エンタッチ)を活用したプロモーション
- ◇ エリア制の導入

■ 調剤薬局事業 ～ 地域包括ケアへの貢献 ～

■ 薬局事業会社の再編

■ 新規開局や採算性に基づいた閉局

■ 調剤報酬改定への対応

◇ 地域連携薬局、専門医療機関連携薬局への機能変化：がん領域をはじめとした専門薬剤師の育成

地域連携薬局：29店舗認定済（今年度40店舗認定予定） 専門医療機関連携薬局：（今年度1店舗認定予定）

◇ 在宅医療の推進：かかりつけ薬局の機能強化、かかりつけ薬剤師の拡充、管理栄養士チームとの連携

■ 業務効率化：ICTの活用

◇ 顧客支援システムの活用（薬局本部システム「ミザル」、ENIFvoice）

◇ オンライン服薬指導、SNSを活用した服薬状況の確認

けんこうサポートサービスの展開

◇ 電子処方せんやオンライン資格確認に対応するための環境整備

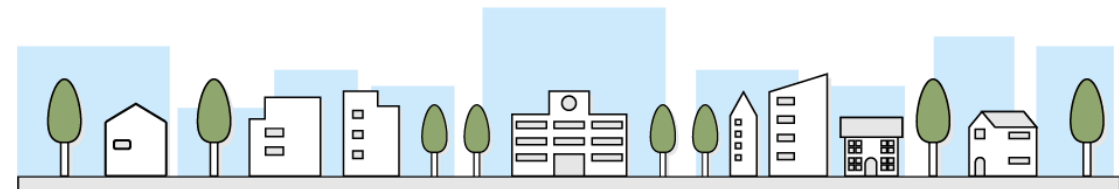
■ その他

◇ ラストワンマイルの構築

◇ e健康ショップとの連携による物販の拡大

TOPIC 電子処方せんのモデル事業

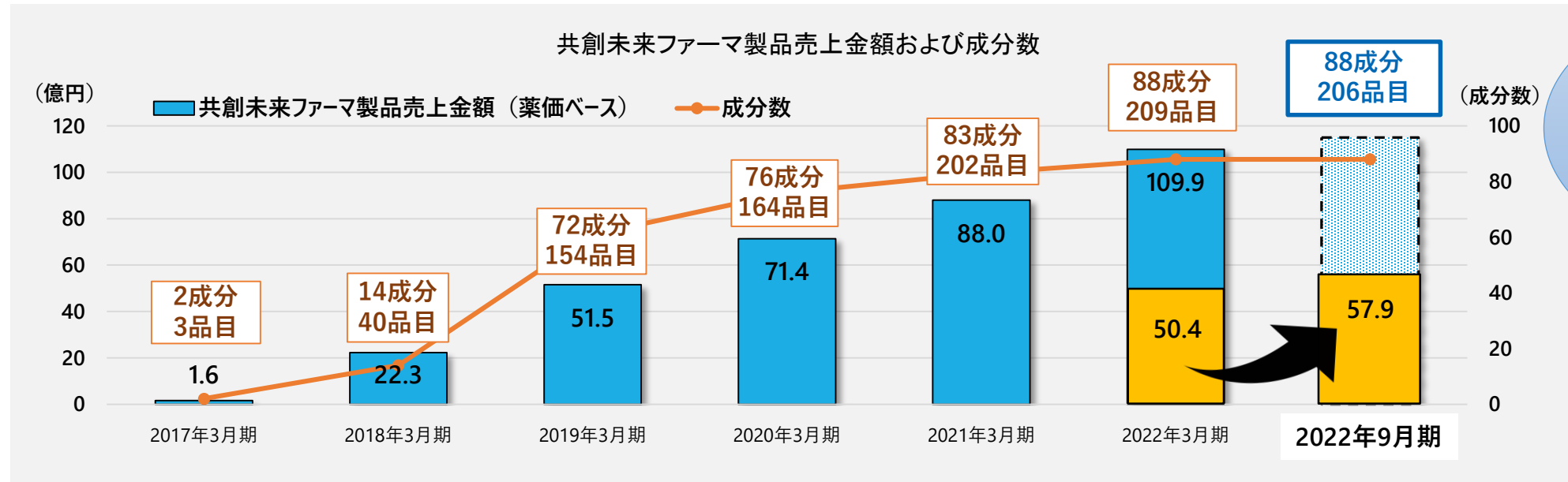
2023年1月から始まる電子処方せんの運用にむけた山形県酒田地域におけるモデル事業に、ファーマみらいの「共創未来あきほ薬局」が参加（2022年10月末～（1年間））



■ 医薬品製造販売事業

■ 共創未来ファーマ

- ◇ デマンドサプライチェーンによる安定的な供給
- ◇ 共創未来ファーマ製品への集約化
- ◇ 製品ラインナップの拡大



886の
大学病院・
大病院(200床以上)
で採用 (2022年10月末)

■ 事業の拡大

- ◇ 成長領域(希少疾病用医薬品・バイオシミラー)への挑戦
- ◇ 先発品への領域拡充
- ◇ 注射剤受託業務の拡大
- ◇ 業務プロセス受託事業への挑戦

参考資料

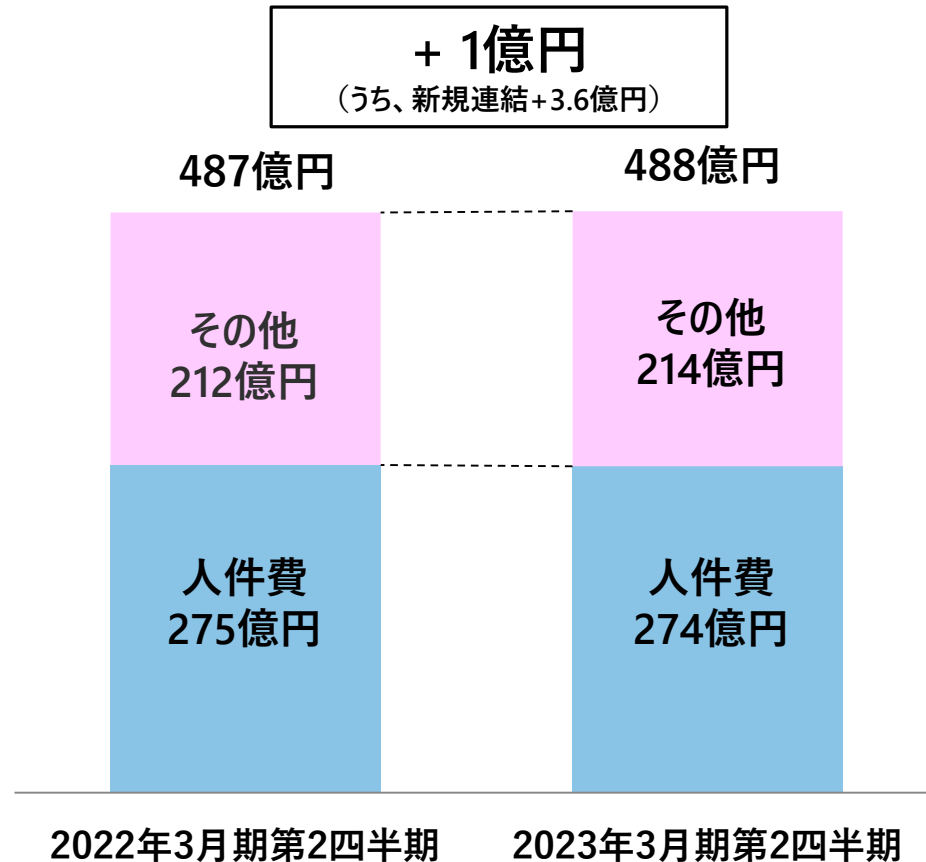
キャッシュフロー

(単位: 百万円)

	2022年3月期 第2四半期	2023年3月期 第2四半期	2023年3月期第2四半期の主な増減要因
現金（同等物）の 期首残高	88,882	90,014	
営業活動	11,593	10,693	税引前利益 6,012 減価償却費 2,919 売上債権の増加 △24,070 棚卸資産の増加 △1,891 仕入債務の増加 36,716 法人税等の支払額 △6,348
投資活動	△1,445	△407	有形固定資産の売却 679 有形固定資産の取得 △502 無形固定資産の取得 △431 関係会社株式の取得 △254
財務活動	△2,202	△2,960	長期借入による収入 3,610 長期借入金の返済 △5,044 配当金の支払 △1,058
現金（同等物）の 期末残高	97,124	97,855	当期増減額 7,841

販売管理費の前年分析

【前年同期比】



- その他 +2億円**
- ・新規連結 +2億円 (調剤薬局)
 - ・既存会社 0億円
 - 医薬品卸 +1億円
 - 支払手数料 +3億円 (物流センターWMSクラウドサービス増ほか)
 - 水道光熱費 +1億円 (値上げにより)
 - 減価償却費 ▲3億円
 - 調剤薬局 ▲1億円
 - 売上減による仮払消費税の未控除費用 ▲1億円
- 人件費 ▲1億円**
- ・新規連結 +1.6億円 (調剤薬局)
 - ・既存会社 ▲2.6億円
 - 医薬品卸 ▲3.9億円
 - 調剤薬局 +1.3億円

設備投資と減価償却費

【設備投資】

2022年3月期	2023年3月期第2四半期	2023年3月期
実績：4,480百万円	実績：946百万円	年間計画：6,838百万円
①「TBC北陸」建物・システム 1,315百万円 ②医薬品卸営業所 新築移転等 2,353百万円 ③その他 812百万円	①「TBC北陸」システム・備品 208百万円 ②医薬品卸営業所 新築移転等 320百万円 ③その他 418百万円 うち、 基幹システムサーバ入替 99百万円 WMS端末入替等 28百万円	①「TBC北陸」システム・備品 212百万円 ②医薬品卸営業所 新築移転等 2,924百万円 ③その他 3,702百万円 うち、 基幹システムサーバ入替 1,096百万円 WMS端末入替等 979百万円

【減価償却費】

2022年3月期	2023年3月期第2四半期	2023年3月期
6,087百万円	2,746百万円	5,953百万円



全ては健康を願う人々のために



【IR担当窓口】広報IR本部
E-mail: info@so.tohoyk.co.jp
<https://www.tohohd.co.jp>

【注記】

本資料に掲載されている東邦ホールディングス株式会社の現在の計画、見通し、戦略、想定等のうち、過去の事実でないものは、将来の業績に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。これらの情報は、現在入手可能な情報から東邦ホールディングス株式会社の経営陣の判断に基づいて作成されております。

実際の業績は、さまざまな重要な要素により、業績見通しとは大きく異なる結果となりうるため、業績見通しのみに全面的に依拠することは控えるようお願い致します。

本資料は、投資勧誘を目的としたものではありません。投資に関する決定は、利用者ご自身のご判断において行われるようお願い申し上げます。また、資料に含まれる医薬品に関する情報は宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。